

あまほ

2014年3月 第21号

地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構
日本海総合病院／酒田医療センター広報誌

目次Contents

第2期中期計画2年目を振り返って
酒田医療センターからのお知らせ

2

形成外科の紹介

3

認定看護師の紹介

4

わたしの仕事紹介リレー

5

クリスマス音楽会の開催

防火訓練を実施しました

6

研修医日記／んめっ！レシピ

7

病院からのお知らせ

8



1年目の研修医です。今春より2年目を迎えます。



第2期中期計画2年目を振り返って

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
理事長 栗谷 義樹

私達の一般地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構はこの春で設立後7年目を迎えます。

第2期中期計画期間の半分を過ぎたわけですが、設立者である山形県、酒田市、また山形大学はじめ関連大学など各方面からのご指導、ご支援、そして法人で働く全ての職員の懸命な努力の結果、第1期中期計画の良好な達成結果に引き続き、2期目も概ね右肩上がりの順調な成長をしてきました。しかしながら、平成25年度の下半期あたりから業務量の観点からは、ほぼピークに達した感触もあり、今後の新たな展開を模索する時期にも来ています。

経営的には高度、高額医療の集約化による入院単価の上昇などもあり、健全化は引き続き果たされていますが、来年度の診療報酬改定は急性期病院にとっては極めて厳しいものであり、これに対しても新しい対応を余儀なくされるでしょう。今年は団塊の世代最後の1949年生まれが、満65歳の前期高齢者に入る年になるとのことです。少子高齢化は否応なく社会保障政策に関し、とりわけ財政的な側面から医療、介護報酬が厳格に管理される政策潮流を生み出し、これ自体は時代の制約としてある程度やむを得ないものとの覚悟をもって、受け止めざるを得ないものです。

一方、酒田医療センターは来春によりやくフルオープンに漕ぎつける見込みとなりました。これまで手探りで苦勞していた運営も、これによりある程度の計画性を持って行うことが出来るようになります。

今後は地域の急性期中核病院である総合病院と、急性期、中間施設、在宅を結ぶ医療センターがそれぞれの機能を大いに発揮し、適切なコラボレーションのもとに中期目標を確実に実現実行していかなければなりません。私達の作る庄内モデルが国のモデルとなるよう、引き続き努力していきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

酒田医療センターからのお知らせ

昨年5月に増改修工事を経て新しく開院した酒田医療センターは、今年4月にA棟5階の病棟を開設するとともに回復期リハビリテーション病棟と療養病棟を再編し、本格的にフルオープンする運びとなりました。

それに伴い、リハビリテーションスタッフも増員し、運転シミュレーションで危機回避能力を判定する「運転評価システム」、歩行時に足底にかかる荷重を測定する「機能評価システム」等を活用しながら、より集中的なリハビリテーションを提供する体制も整備されました。

当院は回復期病院として、昨年6月に開始した通所リハビリテーション（デイケア）も含め、患者さんの1日も早い在宅復帰や社会復帰を支援するという役割を担っています。その機能を十分に発揮し、急性期医療を担う日本海総合病院はもとより関係機関との連携を深め、医療を通じて地域に貢献できる病院を目指します。



立面図

5階	A5病棟 (療養期35床)		
4階	A4病棟 (回復期35床)		
3階	管理部門		
2階	B2病棟 (回復期44床)	渡り廊下	2階 リハビリテーション科、機能訓練室
1階	栄養管理室、デイケア	正面玄関 売店、ATM	1階 受付、外来、地域医療室、薬局、事務部門
地階			SPD、リネン、機械室

形成外科

今号では、形成外科の役割および治療内容についてご紹介します。日本海総合病院 形成外科部長の柏医師にお話を伺いました。

▲私たちが形成外科のスタッフです

◆ 形成外科について

形成外科は、当院では平成8年4月から診療が始まり18年になりますが、今でも患者さんから整形外科とどう違うのかといった質問をよくされます。ほとんど病院にかかったことが無い方も世の中には多いので仕方ないとは思いますが、私どもの広報活動もまだまだ不十分なようです。また整形、形成は名前が似ているだけではなく、手足領域ではオーバーラップしているので余計混乱を招く一因となっています。

形成外科の診療領域は手足の外科ばかりではなく、やけど、顔面外傷、皮膚腫瘍全般、体表の先天異常、あざ、褥瘡、皮膚潰瘍、悪性腫瘍切除後の再建など多岐に及んでいます。形成外科では昨年1年間で770件の手術を行いました。内訳では皮膚良性腫瘍319例、手足の外科174例、褥瘡、重症虚血下肢および難治性皮膚潰瘍60例、まぶたの外科(眼瞼下垂、睫毛内反等)58例、皮膚癌53例、その他103例(頭頸部再建、やけど、口唇裂、乳房再建、ケロイド、わきが手術など)でした。特に最近の傾向は褥瘡やまぶたの外科、皮膚癌の手術が年々多くなり高齢化の影響と考えています。

どのような治療を行うのかといった質問を受けることもあります。当科では機能的なことはもちろんですが、審美的にも美しく仕上がるようにレーザー治療、植皮、皮弁形成、遊離組織移植など種々の方法を駆使しながら対応しています。また、他科との連携も形成外科の特徴のひとつです。頭頸部再建、四肢再建など大きな組織欠損を伴うような手術では、当該科と協力しながら治療を行っています。整形外科、皮膚科、眼科、外科などかかりつけ医からの紹介も増加しており、少しでも地域の期待に応えられるように日々努力しています。

◆ レーザー治療

当科ではQルビーレーザーとウルトラパルス炭酸ガスレーザーがあります。ルビーレーザーは主にメラニンターゲットにしたレーザーで、太田母斑や異所性蒙古斑、外傷性色素沈着、扁平母斑といった黒色を帯びたあざなどに効果があります。炭酸ガスレーザーは皮膚切開、剥削作用のあるレーザーで黒子、イボ、血管腫、やけどの焼痂切除などに使用しています。除痛については最近、効果的な軟膏が発売されましたので、以前より痛みも少なく施術が可能となりました。こうしたことでご希望があればお気軽にご相談ください。



▲当院で使用しているレーザー機器です

◆ フットケア外来

今年の4月から月曜の午後3時からフットケア外来を立ち上げます。糖尿病や動脈硬化などリスクの高い方の足病変予防、足病変軽症例の早期発見と治療、中等度・重度足病変の積極的な治療を行います。高齢者で関節の屈曲、伸展が十分に出来ない場合、目が悪い場合などでは自分で直接足を見ることが出来ません。神経障害があれば知覚が低下しているために知らないうちに潰瘍が生じている場合もあります。糖尿病による下肢切断では、85%で足潰瘍が先行するといわれています。こうした患者さんをより早い段階で見つけ出すことにより、足切断を何とか回避することを第一の目標にしています。

形成外科部長 柏 英雄

認定看護師の紹介 第3弾

第3弾となる今回は、4名の認定看護師の活動内容をご紹介します。日本海総合病院では、現在12名の認定看護師が活躍しており、現在も2名の看護師が資格取得に向けて勉学に励んでいます。新たな認定看護師が誕生した際には、このコーナーにてご紹介いたします。

救急看護認定看護師



時松 緑

救命救急センターは平成23年4月より稼働しました。そして、同年より「救急医療の質・看護の質の向上に貢献し、地域・社会の救急医療に貢献する」という目標を掲げて救急看護認定看護師として活動しています。

私が認定看護師になった当初は、救命救急センター全体の知識とスキルを向上させ、救急医療を受ける患者さんの命を救うことを目標に、スタッフ一丸となって活動してきました。今後は他の専門分野のスタッフと協働し、生命の危機的状況にある患者さんと家族に対して、救命のみならず精神面に至る幅広い救急看護を提供できるよう活動していこうと考えています。

がん化学療法看護認定看護師

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤の安全な取扱いや適切な投与、副作用症状の緩和、セルフケア支援が主な役割です。現在、私は化学療法室に所属し、通院しながら抗がん剤治療を受けている患者さんを担当しています。

日本では、2人に1人が「がん」になると言われており、抗がん剤治療が必要な人の数は年々増えてきています。患者さんの多くは、これまで大きな病気をしたことがなく、突然「がん」と診断され、戸惑いの中で治療が始まっていきます。私は、そのような患者さんが早く治療のペースをつかみ、病気や治療中の副作用症状と付き合いながら生活していけるように支援しています。



遠藤 麗

緩和ケア認定看護師



小野 早代・村上 祥子

緩和ケアは、がんと診断されたときから、がんによって生じる痛みや息苦しさ、気持ちのつらさなど体や心のつらさを少しでも和らげ、自分らしく生きていただくためのケアです。主治医や病棟看護師の他に多職種が集まった緩和ケアチームが力を合わせ、ケアにあたります。緩和ケア認定看護師はチームの中心として、身体的・精神的な苦痛の軽減に努め、患者さんやご家族が大切にしているものを尊重し、できる限り自分らしく生活できるように支援しています。

当院には緩和ケア認定看護師が2名おり、私(村上)は専従として院内全体の相談を受け、小野看護師は病棟所属で病棟中心に活動しています。また、緩和ケアに携わる看護師の指導・相談を通して緩和ケアの質の向上を目指しています。

看護師等修学資金貸与制度のご案内

山形県・酒田市病院機構では、看護師・助産師を目指して勉学に励む看護学生を応援します！

担当：法人管理部 総務課庶務係
Tel 0234-26-2001

◇募集人数および対象者

募集人数：若干名

- ・平成26年4月1日以降に看護専門学校(大学)等に入学する方
- ・卒業後に看護師または助産師として、当法人に就職を希望する方

※当法人での採用を約束するものではありません

◇貸与金額および貸与期間

月額50,000円(学校等の修業年限内)

◇修学資金の返還および免除

貸与終了後は利息を付けて返還してください。

当法人に就職し、勤務した期間が学校等の修学年限に相当する期間に達した場合は、返還を全額免除します。

◇申込受付期間

4月から貸与を希望する場合は、4月10日までに修学資金貸与申請書に必要書類を添えて提出してください。なお、詳細については病院機構HPをご覧ください。

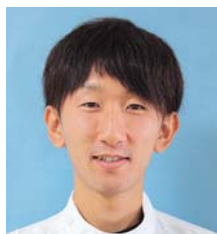


わたしの 仕事 紹介レ

管理栄養士編

小林大樹さん

今回のお仕事紹介は、
私が担当します。



酒田医療センター栄養管理室所属、管理栄養士3年目の小林大樹です。私は鶴岡市出身で新潟

医療福祉大学を卒業しました。豊かな自然と食に恵まれ、人々の温もりあふれる故郷庄内で地域に貢献したいと思い、日本海総合病院に就職し、現在は酒田医療センターで勤務しています。酒田医療センターには管理栄養士が2名おり、共に男性という環境で、入院患者さんの栄養管理、栄養相談、献立作成、デイケアでの食事提供などを担当しています。給食業務は、庄内給食センターに一部委託をしており、毎日約200食の給食を提供しています。それでは私の業務についてご紹介します。

まず、入院患者さんの食事時間に合わせて病棟を訪問し、患者さんとコミュニケーションをとりながら、食具

合や身体の様子を観察します。毎日病棟に行くことで、食事摂取の状況や身体状況など、患者さんに起こっている変化に気づくことができます。食事摂取量と体重、検査データを参照しながら、提供エネルギーや栄養量の調整を行っています。患者さんの中には、エネルギーや塩分といった特定の栄養素に対して調整が必要な方もおり、



▲売店での栄養相談の様子

そのような方には、病態や嗜好を考慮した個別対応の食事を提供します。また、当院ではNST「栄養サポートチーム」が活動しており、重点的な栄養管理が必要な患者さんに対して、医師、看護師、薬剤師といった多職種で栄養サポートを実施しています。NSTは週に1回、日本海総合病院と合同で回診を行っています。

次に栄養相談では、入院患者さんやご家族に対して行います。患者さんの家庭環境や過去の食習慣を考慮して、実践的な内容になるように心掛けています。当院の場合、対象患者さんの多くがご高齢の方です。食べるものを制限してしまい、退院後の食事が減らないように特に配慮をしています。患者さんの中には、売店を利用する方もおりますので、実際に売店で商品を手にとって栄養相談をすることもあります。

続いて献立では、季節ごとに内容を変えており、旬の食材を用います。味や栄養面だけではなく、全体の彩も考えながら献立を立てています。なかでも当院の自慢は、酒田港でとれた新鮮な魚です。献立内容や食材は、委託先の栄養士と検討を重ねて決定し、経験豊富で頼もしい先輩栄養士の助言をいただきながら、季節感を活かした献立作りに努めています。

また、当院では昨年6月にデイケア室がオープンし、利用者の方に昼食と



▲職員でゴーヤを育てました

おやつを提供しています。デイケア室には職員も含めてとてもアットホームな雰囲気満ちており、管理栄養士も昼食とおやつの時間にデイケア室を訪問し、利用者の方と楽しい時間作りができるよう関わっています。昨年は、敷地内の畑で無農薬の野菜やさつま芋の栽培を行い、収穫した野菜は利用者の方の昼食の食材にしたり、ご家庭に持ち帰っていただいたりと、利用者の皆さんに喜ばれるような活動ができたと感じています。

最後に、私たちが暮らす庄内地域は「食の都」と言われます。私は、ここ庄内で働く管理栄養士として、在来作物や郷土料理など昔から伝わる食文化を大切にしながら、患者さんの栄養管理に携わっていきたいと考えます。今後も、先輩方のご指導をいただきながら精一杯頑張ります。

次号のこのコーナーは、日本海総合病院の阿部薬剤師が担当します。

クリスマス音楽会を開催しました



昨年の12月15日に日本海総合病院のエントランスホールを会場にクリスマス音楽会を開催しました。この音楽会は、入院患者さんやご家族の方にクリスマスの雰囲気を感じていただければという趣旨で毎年開催しています。

今回の出演は、酒田西高等学校の音楽部弦楽班の皆さんと病院職員によるハンドベルサークル「ミッキーズ」です。両団体ともクリスマスにちなんだ曲を中心に、映画やテレビの主題歌など合わせて10曲以上を披露していただきました。

当日は、病棟から多くの患者さんやご家族の方が来場され、ハンドベルの澄んだ響き、バイオリンとピアノの柔らかな音色、チェロとコントラバスの深みのある音色



▲酒田西高等学校の皆さん



▲ミッキーズの皆さん

に聴き入っていました。途中、サンタクロースが登場して子どもたちにもプレゼントを渡す一幕もあり、会場はより楽しいクリスマス雰囲気に包まれました。今回の音楽会の模様は、昨年同様、病室のテレビにもリアルタイムで配信し、会場までの移動が困難な患者さんにも楽しんでいただけたように思います。

音楽会終了後、ミッキーズのメンバーは本町温泉スパ・ガーデンを訪問し、初の院外での演奏を行いました。いつもとは違う会場にやや緊張気味のメンバーでしたが、温泉を訪れた地域の方々にハンドベルの演奏と一足早いクリスマスの雰囲気をお届けしました。

防火訓練を実施しました

日本海総合病院では2月18日に、火災発生時における職員の役割、消火器や消火栓の操作方法、避難経路と誘導方法の確認を目的とした防火訓練を実施しました。訓練は、午前2時の深夜帯に4階東病棟より火災が発生したという想定で行われ、第一発見者の看護師による初期消火から模擬患者の避難・誘導までを一連の流れとして実施しました。

今回の訓練では、医療用担架であるエアーストレッチャーを使って模擬患者の搬送を行いました。また、今回は使用しませんでした。また、今回は使用しませんでした。また、今回は使用しませんでした。



▲エアーストレッチャーでの搬送の様子

わらずエレベーターが使用できない緊急事態において、階段を使って患者さんを避難させる

ための器具になります。

訓練終了後の酒田市消防本部の講評では、火災発生時における避難・誘導は水平移動が原則であり、垂直方向の階段は極力避けるべきとの意見をいただきました。

煙が水平方向に広がる速度は毎秒0.5〜1mであり、上昇速度は毎秒3〜5mにもなると言われており、避難経路の重要性を改めて認識する訓練となりました。

昨年の10月には福岡市の医療機関にて火災が発生し、10名の命が奪われる大惨事となりました。福岡市消防局では、通報が遅れたうえに初期消火ができず被害が広がったと指摘しており、それ以外にも防火扉といった設備の老朽化も問題視されました。

当院では、今後も定期的な設備点検や避難経路の確認を行うとともに、万が一の際に搬送器具や消火設備をいつでも使えるように、より充実した実動訓練を繰り返し実施していきます。



▲昨年6月に実施したイーバックチェアでの搬送訓練

研修医 日記

がんばれ!!



研修医1年目の
後藤百合子です。
充実した研修をさ
せていただしてい
ることに病院ス

タッフの皆さんに感謝する毎日です
が、気づけば研修が始まり1年が経
とうとしています。時の流れの速さ
にただ驚くと同時に、今は新しい後
輩ができることへの期待と不安で
いっぱいです。来年度は10名の初期
研修医の方々が新たに加わるという
ことで、さらに活気溢れる病院にな
りそう楽しみです。一番身近な存



▲ボウリングでリフレッシュ



▲病院主催ボウリング大会の打ち上げの様子です

も全国各地から素敵
な後輩が集まる研修
病院であるよう、私
たちも微力ながら頑
張っていききたいと思
います。簡単です
が、研修医の仕事以
外の活動を紹介させ
ていただきました。

在として少しでも頼れる先輩にな
れるよう頑張りたいと思います。
さて今回は、研修医が主催して
いる学生歓迎会についてお話し
したいと思います。この歓迎会は、病
院見学や実習で来てくださった学
生さんを対象に勧誘の一環として
開催しています。庄内の美味しい
お酒を交えながら、研修内容など
を中心に日本海総合病院のありと
あらゆる魅力を語ったりします。
私も以前学生として参加させてい
ただきましたが、先輩研修医の
方々のとても楽しそうな雰囲気
を感じて、私もこんな病院で働け
たらいいなと思ったことが志望理
由の一つとなっています。

の

私たち同期は山形大学、順天堂
大学、自治医科大学の出身者が集
まっていますが、やはり他大学の
同期からは刺激を受ける部分が大
きく、とても良い環境です。今後

～地物の魚を使った好評メニュー～

魚の唐揚げ南部酢

1人あたり
エネルギー190kcal
塩分1.0g

作り方

- ① 魚に片栗粉をまぶし、中心に火が通るまで揚げる。
- ② Aのしょうゆ、さとう、みりんをさっと煮つめ、冷めたら酢とすりごまを入れ混ぜ合わせる。
- ③ 揚げた魚と②をからめる。
- ④ 付け合せとして青菜や季節の山菜などをゆで、添えれば完成。



アレンジポイント

- 鶏肉でも応用ができます。
- カロリーを抑えたい場合は、揚げるのではなく、小麦粉をまぶしてフライパンで焼くことをおすすめします。

管理栄養士より

料理名の「南部」とは、ごまを用いた料理によく使われる言葉です。これは、青森県と岩手県にまたがる南部地方がごまの名産地であることに由来します。

魚は季節ごとに旬のものを使用するとよいでしょう。サワラやアジ等の青魚、タラがおすすめです。調味料は砂糖、酢、ごま等の塩分が少ないものを使っており、揚げることで風味が増します。少ない塩分で満足感が得られる一品です。ご家庭でも是非お試しください。

健康元気

んめっ!
レシピ

今回は酒田医療センターのおすす
め料理を紹介します。

材料(4人分)

●魚切り身…4切れ(今回は鰯を使用)

●片栗粉…40g

●揚げ油…適量

しょうゆ…大さじ1弱

さとう…大さじ1・1/3

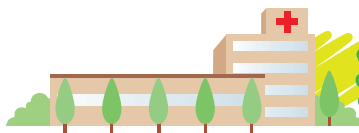
A みりん…小さじ1

酢…大さじ1・1/3

すりごま…大さじ3/4

●青菜や山菜…適量

(今回はウリイを使用)



病院からのお知らせ

医学生の実習への協力とお願い

日本海総合病院では、医師として必要な実践的臨床能力を習得させることを目的として、1月6日～7月24日までの期間で東北大学および山形大学の医学生が各診療科にて実習を行います。

実習は当院の診療スタッフの指導・監修のもとで行っており、厳格な「守秘義務」を課しておりますので、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

医師異動のお知らせ

日本海総合病院

日本海総合病院

転出者 ①新任地等
外科 岡本 宏史
①東北大学病院
産婦人科 太田 聡
①太田医院

①東北大学病院
②社会勉強



外科
高屋 快

①山形大学医学部附属病院
②南の海に漂っていたい



神経内科
岡田 弘明

転入者

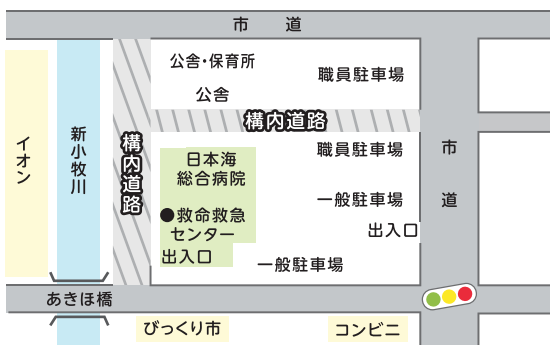
①前任地
②時間があつたら
やってみたいこと

構内道路および駐車場 を利用される方へ



下図のとおり、斜線部分は日本海総合病院の構内道路になっています。救急車等の緊急車両が通りますので、当院に御用のない方の通行はご遠慮くださるようお願いいたします。お車にて構内道路および駐車場を通行される際は、徐行運転でご通行ください。

また、当院では敷地内の全面禁煙を実施しておりますので、皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。



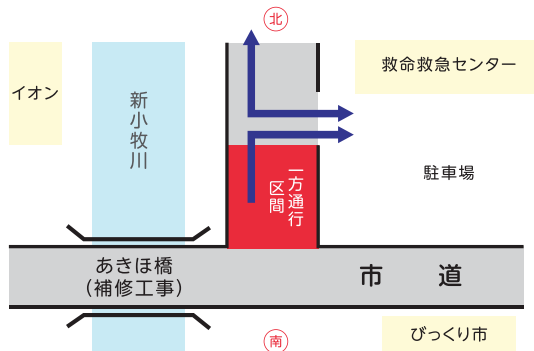
あきほ橋工事に伴う 通行制限のお知らせ



日本海総合病院南側にある「あきほ橋」の工事に伴い、新小牧川沿いの構内道路が北側方面への一方通行になります。

下図のとおり救命救急センター側の入口には両方向から入れますが、「あきほ橋」方面への通行はできませんので、お車でお越しの際はご注意ください。

期間：平成26年3月11日～5月下旬(予定)



広報誌「あきほ」第21号

平成26年3月(季刊) 発行部数：2,500部

編集発行 ● 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構
広報企画委員会(事務局：法人管理部)
〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30番地
TEL:0234-26-2001(代表)
FAX:0234-26-5114
URL : <http://www.nihonkai-hos.jp/>
E-mail : kanribu@nihonkai-hos.jp
印刷 ● 株式会社小松写真印刷

編集後記

(栄養管理室 高橋智美)

冬の間は運動不足になりがち。患者さんとも「運動したいけど、雪が降ると散歩に行けないですね」という会話をよくします。雪で足下が悪い上に寒いとなると、すぐには動き出せないものです。運動しようにもなかなか腰が上がらず、気づけばもう春だ…という方も少なくないのではないのでしょうか。

次第に寒さも和らぎ、明るい日差しが出てくるようになりました。「運動」と身構えずにまずは軽く、街中の春を探しにちょっと散歩へ出かけてみませんか。体を動かすことで、普段の食事よりもおいしく感じるかもしれませんよ。